

平成17年10月27日

各位

会社名 京セラ株式会社  
代表者名 取締役社長 川村 誠  
(コード番号 6971 東証・大証第1部)  
問合せ先 財務部長 豊谷 晃彦  
(TEL 075-604-3500)

## 平成18年3月期 中間配当に関するお知らせ

当社は、平成17年10月27日開催の取締役会において、平成18年3月期中間期の1株当たりの中間配当について、下記のとおりとすることを決議しましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 増配の理由(前年中間期比)

当社は、平成17年3月期期末配当金より新しい配当方針として、株主重視の姿勢をより明確にし、配当額の業績連動性を高めることといたしました。具体的には、連結配当性向 20～25%程度を目安とし、あわせて中長期の企業成長に必要な投資額などを考慮して、総合的な判断により配当金額を決定する方針としました。

当中間期の連結業績は、本日公表しましたとおり、売上高及び利益は前年同期比減少いたしました。しかし、下半期以降、デジタルコンシューマ機器市場の回復により部品事業の業績向上が見込まれることに加え、機器事業の業績もこれまで進めてきた事業構造改革の効果や新商品の投入により、業績改善が図れるものと予想しております。その結果、本日公表した通期の1株当たり予想当期純利益は389円34銭となり、年間配当金予想100円にもとづく当期の配当性向は25.7%となります。

以上の業績見通し及び配当方針に鑑み、当中間期の配当金につきましては、前年中間期の1株当たり30円から20円増配し、50円といたします。

#### 2. 修正の内容

平成18年3月期(平成17年4月1日～平成18年3月31日) 1株当たり配当金

	中間配当金	期末配当金	年間配当金
前回発表予想 (平成17年4月27日公表)	未公表	未公表	100円
今回修正予想 (平成17年10月27日公表)	50円	50円	100円
(ご参考)平成17年3月期実績	30円	50円	80円

平成17年4月27日の決算発表時においては、平成18年3月期の年間配当予想として100円を公表しており、中間配当については公表しておりません。なお、今回、平成18年3月期の年間配当金の予想については変更ありません。

### 3. 中間配当支払開始日

平成17年12月5日

#### (注)業績予想に関する注意事項

この配布資料に記載されている記述には、1934年米国証券取引所施行21E条に定義される「将来予想に関する記述」(forward-looking statements)が含まれています。これらの将来予想に関する記述は、現時点で入手できる情報に鑑みて当社が予想を行い、所信を表明したものであります。これらの将来予想に関する記述は、既知及び未知のリスク、不確実な要因及びその他の要因を含んでいます。かかるリスク、不確実な要因及びその他の要因は以下のものを含みますが、これらに限られるものではありません。

- (1)当社が関連する市場の状況(特に、日本、米国、欧州及び中国を含むアジアの経済状況)。
- (2)当社の売上高の相当な部分を構成している通貨(特に米ドル及びユーロ)と円との為替レート。
- (3)競争の厳しいセラミック、半導体部品及び電子部品市場における当社の、革新的な製品を提供し、顧客の要求に沿った先進技術を投入する能力。
- (4)通信やパーソナルコンピュータを含む世界の情報技術市場の将来における成長又は縮小の規模及び速度。
- (5)保有する有価証券その他の資産の時価の変動及び会計基準の変更。
- (6)当社が提携する他企業の事業の動向。
- (7)日本及び諸外国における税制並びに生産体制及び貿易に関する法規制等。
- (8)テロ行為、疾病の発生、その他当社の市場やサプライチェーンに混乱を与える可能性のある要素。
- (9)当社の製造施設その他主要な事業関連施設がある地域における地震などの自然災害の発生。

かかるリスク、不確実な要因及びその他の要因により、当社の実際の業績、事業活動、展開または財務状況は、これらの将来予想に関する記述に明示または包含される将来の業績、事業活動、展開または財務状況と大きく異なる場合があります。当社は、この配布資料に記載されている将来予想に関する記述についてこれらの内容を更新し公表する責任を負いません。

以上